



# 三笠だより

舞鶴市立三笠小学校  
学校だより 2月号  
令和8年1月30日発行

## 学校給食を通して 育てたいもの

三笠小学校の給食週間は1月19日から27日でした。この期間に合わせて、保護者の皆様にも学校給食への理解を深めていただき、学校とともに食育について考える機会となるように、給食試食会と給食協議会を開催し、1年生の保護者、PTA本部役員・給食部の皆様にお越しいただきました。給食試食会の献立は、ウズベキスタン料理でしたが、保護者の皆様には、「給食とてもおいしかったです。子どもたちの栄養や安全を考えて、これほど細かく考えていただいているとびっくりし有難く思いました。」「衛生管理も徹底されていると分かり、安心しました。」「調理の方や栄養士の先生、先生方に給食の面でも温かく見守っていただいていることが分かりました。」などの感想をいただきました。ご家庭でも、給食について話題にいただいたようで、次の日、いつもは残しがちな児童が完食して給食室に食器を返却にきたことも嬉しく思いました。



また、栄養士による全学年の栄養指導も行いました。栄養士が、栄養バランスの取れた一食分の献立を考える授業をしたところ、授業後にある子が栄養士の所に来て、「今日の給食の授業を受けて、栄養士になりたいと思いました。」と伝えに来たそうです。食育を通して、心身の健康の大切さに気づき、それに関わる栄養士という仕事に深く関心を持ったのでしょう。

さらに、今月の給食の目玉は、「海上自衛隊カレー」と「海上保安庁カレー」の食べ比べてでした。「海自カレー」は、トマトとセロリが入り、トッピングの野菜チップス付き。昆布だしも入っていました。「海保カレー」は、キーマカレーでマッシュルームやサラダ豆入り。赤ワインとめんつゆの味付けです。夏休みに市内小学校の栄養職員・栄養教諭が、実際に海自・海保の方に味付けを教わりました。子どもたちは、いつもの給食のカレーと食べ比べながら、「野菜たっぷりおいしい。」「ちょっとピリ辛。」などと感想を言いながら、おいしくいただきました。2年生がきょうと食育先生から教わった佐波賀だいこんの栽培も、種蒔きから収穫までを体験し、給食でお味噌汁として味わい、郷土野菜について学びました。

学校給食を通して、ふるさとを愛する心、目標に向かって粘り強く頑張る心、食に携わる方々や食材に感謝する心などを育み、生涯にわたって心身共に健康で豊かな生活を送ってほしいと願っています。

### 【第2回三笠小学校学校運営協議会】

今回は、授業参観や児童会本部児童との交流を通して感じられたこと等、三笠小学校の教育推進について、ご意見をいただきました。皆様と共有し、学校・家庭・地域が同じ方向を向いて進んでいきたいと思えます。

#### ●自分の意見をしっかりと言い、他人の意見も受け止められる子になってほしい

なかなか自分から意見を言わないけれども、こちらから尋ねるとしっかりと答えられる子が多い。引き続き、アウトプットする体験を多くさせたり、大人が待つ姿勢を大切にしたりしたい。

#### ●登下校の安全管理について

地域の見守りボランティアの方には大変お世話になりありがたい。PTAとしても、保護者同士がつながり、登下校の安全について協力できる体制を整えたい。また、子どもたち自身に危険予知能力を身に付けさせたい。大人に頼ってばかりでは自分で自分の安全を守ることができなくなる。

#### ●教員が子どもと向き合う時間を確保するために

教員が日々遅くまで勤務している実態がある。授業の準備や教材研究の時間を十分にとれるように、PTAとしても、協力したい。

明後日からは2月です。お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと、送る会実行委員会を中心にそれぞれの学年で6年生を送る会に向けての計画や準備が始まりました。引き続き、保護者・地域の皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。 校長 高峰 真実 教職員一同